

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス シマエナガ				公表日 2025/2/24
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		物の配置変更を行いスペースを確保しています。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		遠距離の送迎をする指導員が多い	実利用人数の指導員数の適正化が必要
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		特性を考え配置変更を進めている	遊具をどの場所に置くかなど番地を決める予定
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		スペースの確保	人員と時間・支援の適正配分
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		活動スペース・宿題のスペースの分離	個別の屁は構造上難しいためパーテーションを導入
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		会議・定例ミーティング時に提起している	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			意見聴取の機会作り
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		意見の聞き取りの場を設けている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3			費用がかかるため余裕がないため
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		案内が確認された時には参加を促している	伝達講習の慣れ・やり方
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			実効性や公表の仕方・方法
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		年1回以上現状確認シートを作成している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		基本的に全意見を聴取している	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			達成率・進捗の確認
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			フォーマル? インフォーマル?
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		個別支援計画作り時に具体的な取り組みを設定している	地域の連携、どこまでの範囲が必要か、その理解が必要。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4			行い方の理解

援の提供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4			各指導員の認識の確認
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		特性が大きく違うためラジオ体操を取り入れている	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			毎回行う時間設定をどうするか？
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		終了時に必ず打合せはしていない（時間の確保がされていない）	LINE WORKSでの情報共有
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		連絡帳アプリ（みらいダイアリー）を活用する	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	1	3	モニタリング（定期的に行っているかどうか自覚はない）	タイミングの設定
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	3		4つの基本活動とは何か？参考資料を確認	LINE WORKSの掲示板に掲載しいつでも見えるようにする
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		支援に取り入れている	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		自動発達管理者やリーダーが参加している	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		相談支援専門員を介している	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		保護者より情報を得ている	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2		相談支援専門員があり、依頼時に参加している	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2		相談支援専門員があり、依頼時に参加している	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	1		
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		3	祭りに参加している	実施するためのノウハウ収集ができていない
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	1	可能な限り参加している	内容や開催時間の選定
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		送迎時に伝えることが多い	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特レーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2		実行するためのノウハウの収集がわからない
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2		契約時説明している	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		面談や書面を作っている	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		承認サイン時に説明を行っている	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		保護者との会話の中で意見として伝えることはある	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	2	保護者会は3月末に日時を設定している	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2		自発的に改善報告をしたことはある	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	1	連絡帳アプリやホームページを作り公開している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		年数回、会議時に話をしている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		連絡帳アプリ（みらいダイアリー）を活用している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		1		必要性の知識の取得場が不明
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			訓練日の設定
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3		そもそもB C Pとは？	社内研修を行なっていても理解できていないので理解を深めるためにはどうすればよいのか？
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		保護者より連絡が来る	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		該当児童なし	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1		全員で安全計画を作成する
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			全員で安全計画を作成する
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	1	最近、少し意識が低下しているかもしれない（記入者の）	定期開催日の設定
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		事例を指導者全員がわかるようにデジタル化をしてほしい。	LINE WORKSや指導員全員が共有できるツールの導入を検討中
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2		該当児童なし	